

平成 26 年度

一般廃棄物処理の現況

(平成 28 年 2 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課

目 次

I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	3
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	5
(2) 各地区の状況.....	6
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	10
(2) 各地区の状況.....	11
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	24
(2) 各地区の状況.....	25
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	29
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	34
(2) し尿処理の状況.....	35
(3) し尿処理施設.....	36
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	37
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	37
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	41
7-3 委託・許可件数.....	41
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	41
8. ダイオキシン類対策等の状況.....	42

II 資料編

1. ごみ処理の概況

(1) ごみ処理フロー（平成 26 年度実績）	43
(2) ごみ処理の状況（市町村別）	44
(3) 1人1日当たり総排出量別・リサイクル率別市町村一覧（平成 26 年度）	46
(4) ごみの収集体制・分別状況（生活系）	46
(5) 保管施設整備状況	47
(6) 平成 26 年度資源回収状況	48
(7) ごみ処理施設整備状況	50
(8) 不燃物処理施設整備状況（粗大ごみ処理施設含む）	52
(9) 埋立処分地施設整備状況	54
(10) 焼却施設（溶融施設・ごみ燃料化施設含む）整備状況図 （平成 27 年 3 月 31 日現在）	57

2. し尿処理の概況

(1) し尿処理フロー（平成 26 年度実績）	58
(2) 衛生処理人口	59
(3) し尿処理の状況（市町村別）	61
(4) し尿処理施設整備状況	63
(5) コミュニティ・プラント施設整備状況	65
(6) し尿処理施設整備状況図（平成 27 年 3 月 31 日現在）	66

3. 廃棄物処理事業の概要

(1) 廃棄物処理事業従事職員	67
(2) 委託・許可件数	68
(3) 一般廃棄物処理事業者等関係整備状況	69
(4) 廃棄物事業経費（市町村別）	70
(5) 廃棄物事業経費（事務組合別）	72

4. 浄化槽整備状況

(1) 年度別浄化槽設置状況	74
(2) 市町村別・規模別浄化槽設置状況（平成 26 年度末）	75
(3) 浄化槽設置整備事業実績（個人設置型）	76
(4) 市町村設置型浄化槽整備実績（平成 26 年度末）	77
(5) 浄化槽法定検査（法第 11 条）実施状況	78

5. 参 考 資 料

島根県における一般廃棄物処理体制	79
廃棄物処理関係一部事務組合一覧表	80
島根県の廃棄物行政機関	82

I 概要編

1. ごみ処理の概要

(1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1～3 に示す。

平成 26 年度における県内のごみ総排出量は 247,718t(うち、生活系 171,762t、事業系 75,956t)であり、前年に比べ約 0.5%の増加となっている。ごみ総排出量のうち、生活系ごみは、平成 23 年度以降減少しているが、事業系ごみは、平成 24 年度以降増加している。

計画収集人口は 706,437 人(外国人含む)で総人口の 99.98%である。1 人 1 日当たりごみ排出量は 960g、生活系ごみの 1 人 1 日当たりごみ排出量は 666g である。

ごみ総排出量及び 1 人 1 日当たりごみ排出量は近年ゆるやかな増加傾向を示している。

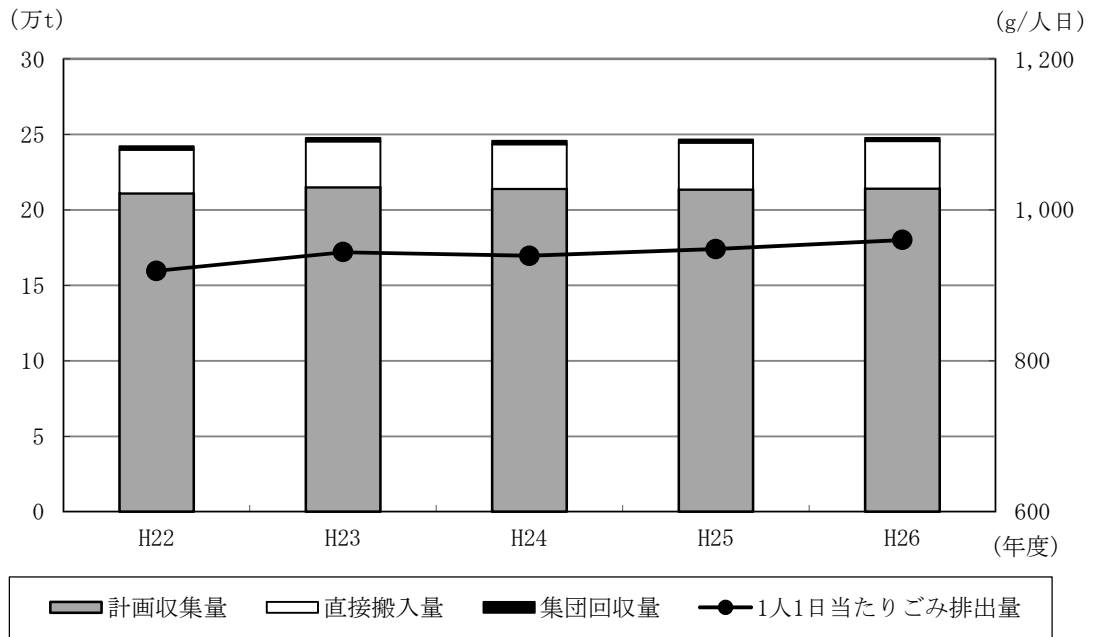
表1-1 ごみ排出量と処理の推移

単位：t/年

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
総人口(人)	722,177	717,167	717,289	712,345	706,612	
計画収集人口	719,717	716,331	717,068	712,168	706,437	
自家処理人口	2,460	836	221	177	175	
計画収集率(%)	99.7	99.9	99.97	99.98	99.98	
ごみ総排出量	計画収集量	210,928	215,029	213,886	213,395	214,039
	直接搬入量	28,938	30,259	29,565	31,089	31,555
	集団回収量	2,295	2,368	2,304	2,063	2,124
	合計	242,161	247,656	245,755	246,547	247,718
	生活系ごみ	169,456	174,674	173,887	173,143	171,762
事業系ごみ	72,705	72,982	71,868	73,404	75,956	
ごみ総処理量	239,738	245,076	243,059	244,343	245,046	
直接焼却	159,726	171,231	173,058	176,811	178,367	
焼却以外	72,818	68,795	65,432	62,930	61,608	
直接埋立	7,194	5,050	4,569	4,602	5,071	
1人1日当たりごみ排出量(g)	919	944	939	948	960	
1人1日当たり生活系ごみ排出量(g)	643	665	664	666	666	
災害廃棄物	-	-	-	716	-	

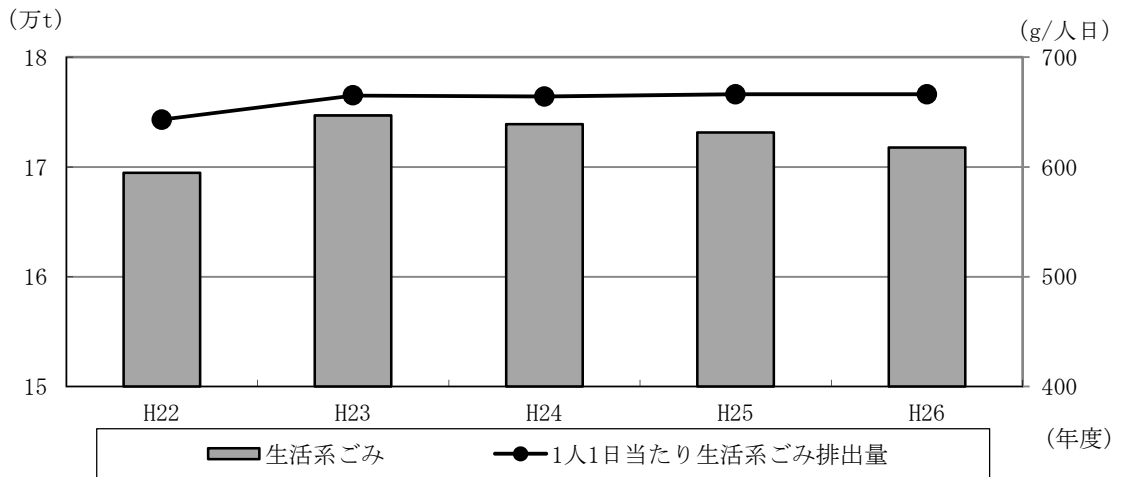
注) 1. 平成 24 年度以降は外国人を含んだ人口

2. 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の外数



注) 1人1日当たりごみ排出量 (g/人日) = ごみ総排出量/総人口/365日 (366日) × 10⁶

図1-1 ごみ総排出量の推移



注) 1人1日当たり生活系ごみ排出量 (g/人日) = 生活系ごみ排出量/総人口/365日 (366日) × 10⁶

図1-2 生活系ごみの排出量の推移

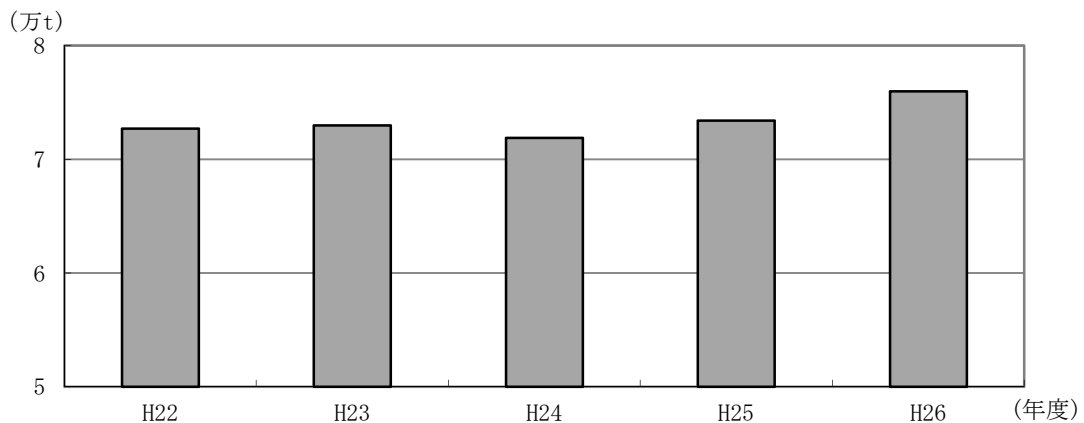


図1-3 事業系ごみの排出量の推移

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 92,823t(うち、生活系 61,711t、事業系 31,112t)、処理量合計は 92,823t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 1,031g と県平均の 960g を上回っている。

<出雲地区>

①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 78,455t(うち、生活系 53,281t、事業系 25,174t)、処理量合計は 76,654t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 916g と県平均の 960g を下回っている。

<浜田地区>

①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 66,399t(うち、生活系 48,148t、事業系 18,251t)、処理量合計は 65,528t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 890g と県平均の 960g を下回っている。

< 隠岐地区 >

① 隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

② 海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③ 西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④ 知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,041t (うち、生活系 8,622t、事業系 1,419t)、処理量合計は 10,041t であり、1人1日当たりごみ排出量は 1,307g と県平均の 960g を大きく上回っている。

表1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

単位：t/年

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区	
総人口(人)	246,675	234,589	204,303	21,045	
計画収集人口	246,675	234,589	204,128	21,045	
自家処理人口	0	0	175	0	
ごみ総排出量	計画収集量	84,720	68,794	56,682	3,843
	直接搬入量	8,103	7,939	9,315	6,198
	集団回収量	0	1,722	402	0
	合計	92,823	78,455	66,399	10,041
	生活系ごみ	61,711	53,281	48,148	8,622
事業系ごみ	31,112	25,174	18,251	1,419	
ごみ総処理量	92,823	76,654	65,528	10,041	
直接焼却	67,789	53,482	48,725	8,371	
焼却以外	24,763	18,883	16,640	1,322	
直接埋立	271	4,289	163	348	
1人1日当たりごみ排出量(g)	1,031	916	890	1,307	

注) 総人口は外国人を含んだ人口

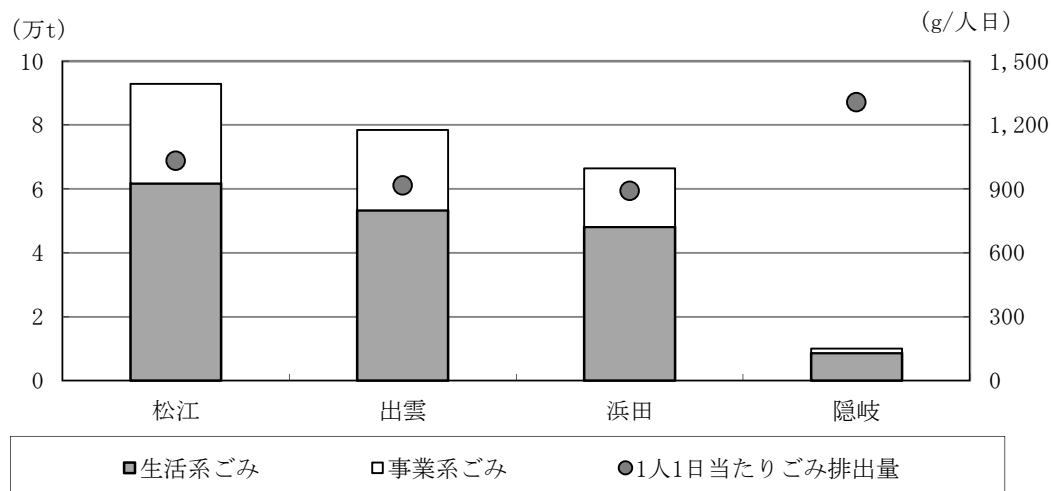


図1-4 ブロック別ごみ排出量

2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

(1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

平成26年度に市町村から排出されたごみ量は247,718tであり、収集内訳は、可燃ごみ75.6%、不燃ごみ5.6%、資源ごみ18.3%、粗大ごみ0.5%、その他は0.1%未満であった。

処理内訳では、178,367t(72.8%)は直接焼却され、61,608t(25.1%)は破碎・圧縮等の焼却以外の中間処理、残りの5,071t(2.1%)は直接埋立とされている。

県全体で57,563tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると59,687tが資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳（単位：t）

県全体		平成26年度	
計画収集量		214,039	
収集内訳	可燃ごみ	161,741	
	不燃ごみ	12,016	
	資源ごみ	39,146	
	その他	18	
	粗大ごみ	1,118	
直接搬入量		31,555	
集団回収量		2,124	
総排出量		247,718	
自家処理量		294	
処理内訳	中間	直接焼却	178,367
		焼却以外	61,608
	最終処分	直接埋立	5,071
		焼却残渣	9,407
		破碎圧縮残渣	6,422
	資源化		57,563
	処理合計		245,046
リサイクル率 (%)		24.1	
1人1日当たりごみ総排出量(g)		960	

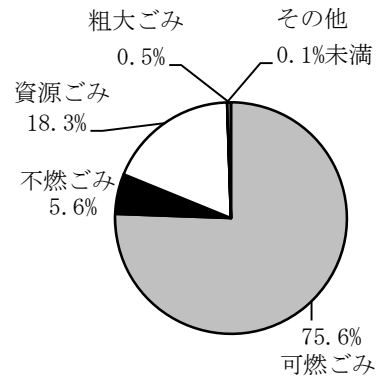
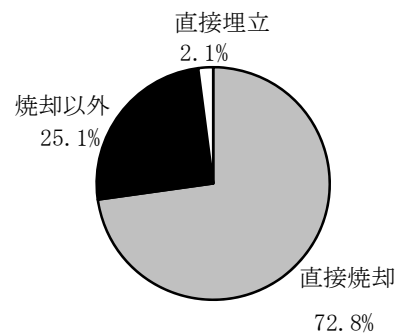


図2-1 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-2、ごみの収集内訳を図2-3、ごみの処理内訳を図2-4に示す。

平成26年度に当地区内から排出されたごみ量は92,823tであり、収集内訳は、可燃ごみ70.9%、不燃ごみ1.7%、資源ごみ26.7%、粗大ごみ0.7%であった。

処理内訳では、67,789t(73.0%)が直接焼却され、24,763t(26.7%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの271t(0.3%)は直接埋立とされている。

当地区全体で27,573tがごみから分別・資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

松江地区		平成26年度	
計画収集量		84,720	
収集内訳	可燃ごみ	60,043	
	不燃ごみ	1,454	
	資源ごみ	22,606	
	その他	0	
	粗大ごみ	617	
直接搬入量		8,103	
集団回収量		0	
総排出量		92,823	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	67,789
		焼却以外	24,763
	最終処分	直接埋立	271
		焼却残渣	1,622
		破碎圧縮残渣	766
	資源化		27,573
処理合計		92,823	
リサイクル率 (%)		29.7	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		1,031	

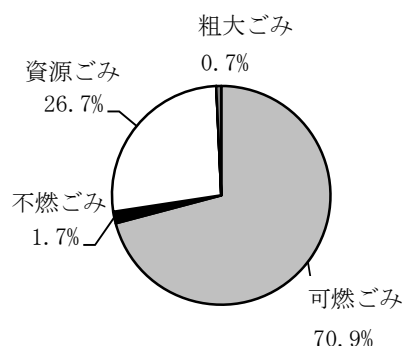


図2-3 ごみの収集内訳

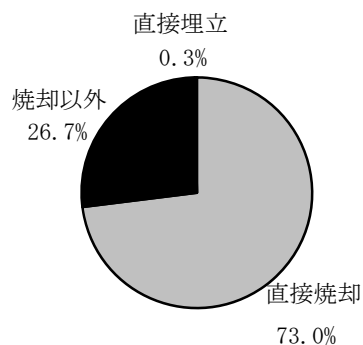


図2-4 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

<出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

平成26年度に当地区内から排出されたごみ量は78,455tであり、収集内訳は、可燃ごみ80.2%、不燃ごみ10.1%、資源ごみ9.6%、粗大ごみ0.1%、その他0.1%未満であった。

処理内訳では、53,482t(69.8%)が直接焼却され、18,883t(24.6%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り4,289t(5.6%)は直接埋立とされている。

当地区全体で14,422tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると16,144tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

出雲地区		平成26年度	
計画収集量		68,794	
収集内訳	可燃ごみ	55,143	
	不燃ごみ	6,954	
	資源ごみ	6,632	
	その他	18	
	粗大ごみ	47	
直接搬入量		7,939	
集団回収量		1,722	
総排出量		78,455	
自家処理量		67	
処理内訳	中間	直接焼却	53,482
		焼却以外	18,883
	最終処分	直接埋立	4,289
		焼却残渣	3,545
		破碎圧縮残渣	2,057
	資源化		14,422
処理合計		76,654	
リサイクル率 (%)		20.6	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		916	

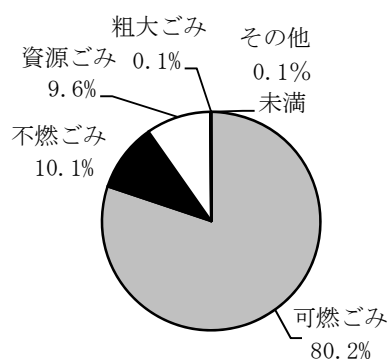


図2-5 ごみの収集内訳

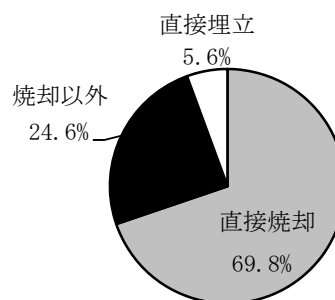


図2-6 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

<浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

平成26年度に当地区内から排出されたごみ量は66,399tであり、収集内訳は、可燃ごみ76.0%、不燃ごみ6.1%、資源ごみ17.2%、粗大ごみ0.7%であった。

処理内訳では、48,725t(74.4%)が直接焼却され、16,640t(25.4%)は破砕・圧縮等焼却以外の中間処理、残り163t(0.2%)は直接埋立とされている。

当地区全体で14,657tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると15,059tが資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳(単位:t)

浜田地区		平成26年度	
計画収集量		56,682	
収集内訳	可燃ごみ	43,076	
	不燃ごみ	3,458	
	資源ごみ	9,762	
	その他	0	
	粗大ごみ	386	
直接搬入量		9,315	
集団回収量		402	
総排出量		66,399	
自家処理量		227	
処理内訳	中間	直接焼却	48,725
		焼却以外	16,640
	最終処分	直接埋立	163
		焼却残渣	2,794
		破砕圧縮残渣	3,298
	資源化		14,657
処理合計		65,528	
リサイクル率 (%)		22.8	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		890	

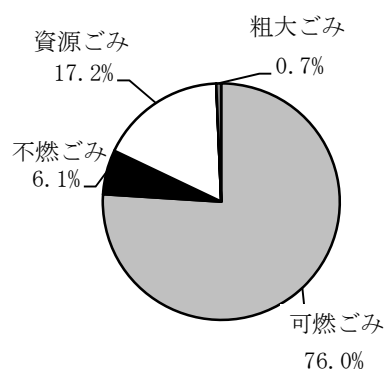


図2-7 ごみの収集内訳

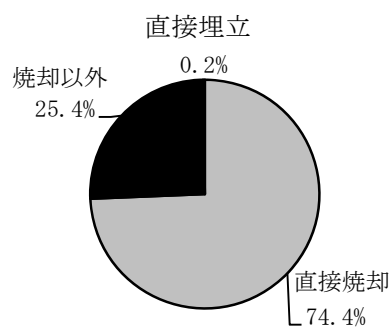


図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100

処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

平成 26 年度に当地区内から排出されたごみ量は 10,041t であり、収集内訳は、可燃ごみ 90.5%、不燃ごみ 3.9%、資源ごみ 3.8%、粗大ごみ 1.8%であった。

処理内訳では 8,371t (83.4%) が直接焼却され、1,322t (13.2%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 348t (3.5%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 911t がごみから分別・資源化された。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳 (単位: t)

隠岐地区		平成26年度	
計画収集量		3,843	
収集内訳	可燃ごみ	3,479	
	不燃ごみ	150	
	資源ごみ	146	
	その他	0	
	粗大ごみ	68	
直接搬入量		6,198	
集団回収量		0	
総排出量		10,041	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	8,371
		焼却以外	1,322
	最終処分	直接埋立	348
		焼却残渣	1,446
		破碎圧縮残渣	301
	資源化		911
処理合計		10,041	
リサイクル率 (%)		9.1	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		1,307	

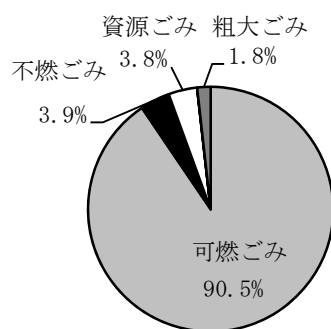
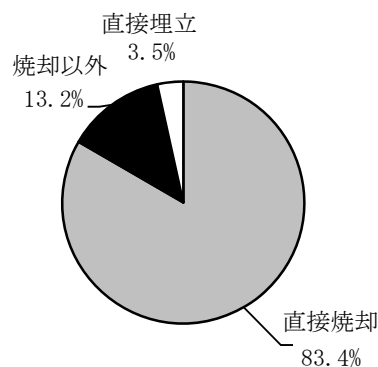


図2-9 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-10 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

3. ごみ処理施設の状況

(1) 全県の状況

平成 26 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は 10 施設(処理能力 708.56 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等施設は 18 施設、粗大ごみ処理施設は 13 施設、保管施設は 15 施設である。

埋立中の最終処分場は 27 施設あり、全体埋立容量は 1,967,926m³、残余容量は 655,719m³となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数 ^{※1}	処理能力(t/日)	残余容量 (H27.3月末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	18	229.17	—
粗大ごみ処理施設	13	248.9	—
保管施設	15	21,277(t/年度) ^{※2}	—
最終処分場	27	1,967,926 (m ³)	655,719 (m ³)

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 26 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種 類	焼 却		ガス化熔融	ごみ燃料化 (RDF)	合 計
	全連続	バッチ	全連続		
炉 型 式	全連続	バッチ	全連続		
施 設 数	1	6	3	1	11
規模 (t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設 (RDF) 及びガス化熔融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

(2) 各地区の状況

<松江地区>

①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は4施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は5施設あり、全体埋立容量は750,641m³、残余容量は110,540m³となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	4	96	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	11,797 (t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	5	750,641 (m ³)	110,540 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成26年度保管量である。

2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融	全連続

②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-5、6に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力52t/日)で平成19年4月25日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は99,304m³、残余容量は52,507m³となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	—
最終処分場	3	99,304 (m ³)	52,507 (m ³)

表3-6 焼却施設の状況(休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	安来市清瀬 クリーンセンター	52	焼却	准連続

※1. ごみ焼却施設は平成19年4月25日より休止中。

<出雲地区>

①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m³、残余容量は30,093m³となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	160(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	1	61,800(m ³)	30,093(m ³)

※1.保管施設の処理能力は、平成26年度保管量である。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表 3-9～11 に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 2 施設、保管施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 41,300m³、残余容量は 20,091m³となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	1,433(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場	3	41,300 (m ³)	20,091 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 26 年度保管量である。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 528,204m³、残余容量は 293,590m³となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	2	75	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	4,426(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	4	528,204 (m ³)	293,590 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 26 年度保管量である。

2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

<浜田地区>

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 4 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 4 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 112,648m³、残余容量は 3,340m³となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	4	13	—
粗大ごみ処理施設	1	25	—
保管施設	4	1,152 (t/年度) [※]	—
最終処分場	3	112,648 (m ³)	3,340 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 26 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-16、17 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 12 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 14,300m³、残余容量は 5,099m³となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	1,406 (t/年度) [※]	—
最終処分場	1	14,300 (m ³)	5,099 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成 26 年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 105,000m³、残余容量は 66,690m³となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場*	2	105,000 (m ³)	66,690 (m ³)

※埋立終了の施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーン センター	98	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は149,729m³、残余容量は24,313m³となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	864(t/年度) ^{※1}	—
最終処分場 ^{※2}	2	149,729 (m ³)	24,313 (m ³)

※1. 保管施設の処理能力は、平成26年度保管量である。

2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続

<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

海士町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 12,000m³、残余容量は 5,889m³となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	39 (t/年度)*	—
最終処分場	1	12,000 (m ³)	5,889 (m ³)

*保管施設の処理能力は、平成 26 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 13,000m³、残余容量は 2,306m³となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m ³)	2,306 (m ³)

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町 ごみ焼却場清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	—

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m³、残余容量は 41,261m³となっている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H27.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場	1	80,000 (m ³)	41,261 (m ³)

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

4. ごみ減量化・資源化状況

(1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

平成26年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は57,563tであった。その内、紙類が18,935t(32.9%)で最も多く、次に、熔融スラグ8,445t(14.7%)、固形燃料8,103t(14.1%)であった。

また、集団回収により資源化された量は2,124tであり、紙類が1,858t(87.5%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	18,935	74	661	5,419	3,526	1,063	3,019	873
集団回収	1,858	2	70	127	22	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	912	2,623	8,445	8,103	605	42	3,263	57,563
集団回収	45	0	0	0	0	0	0	2,124

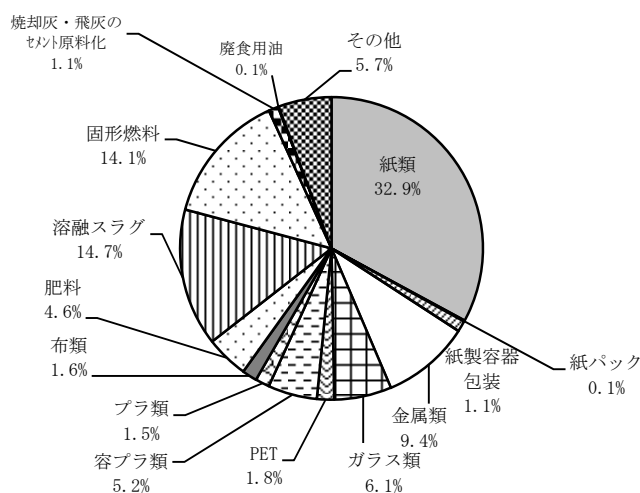


図4-1 市町村による資源化の内訳

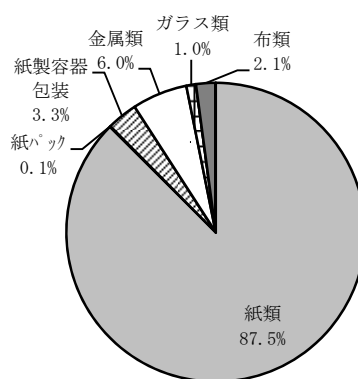


図4-2 集団回収の内訳

(2) 各地区の状況

<松江地区>

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3に示す。

平成26年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は27,573tであった。その内、紙類が7,933t(28.8%)で最も多く、次に、溶融スラグ5,930t(21.5%)、固形燃料3,892t(14.1%)であった。

松江地区では集団回収が実施されていない。

表4-2 資源化の状況

区分	紙類	紙ハック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	7,933	38	623	1,593	1,453	452	1,271	431

区分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	414	2,623	5,930	3,892	605	0	315	27,573

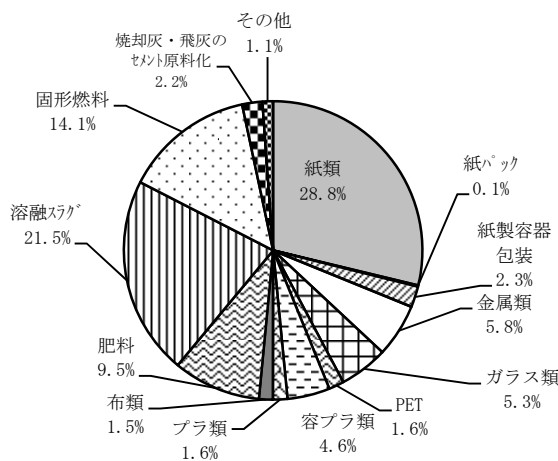


図4-3 市町村による資源化の内訳

<出雲地区>

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-4、集団回収の内訳を図 4-5 に示す。

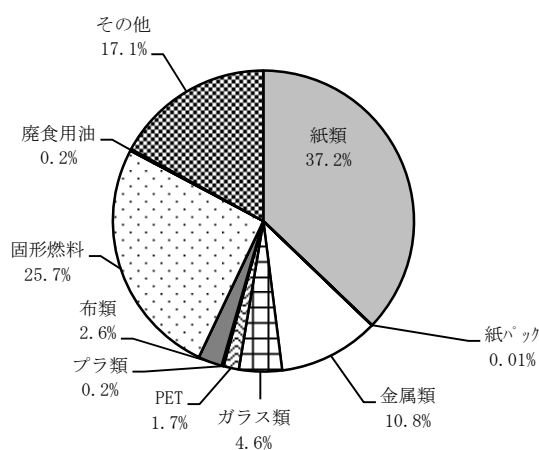
平成 26 年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 14,422t であった。その内、紙類が 5,359t (37.2%) で最も多く、次に固形燃料 3,706t (25.7%)、その他 2,460t (17.1%) であった。

また、集団回収により資源化された量は 1,722t であり、紙類が 1,504t (87.3%) とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

区 分	紙類	紙ハック	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	5,359	2	0	1,562	667	238	0	28
集団回収	1,504	1	70	111	10	0	0	0

区 分	布類	肥料	熔融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	372	0	0	3,706	0	28	2,460	14,422
集団回収	26	0	0	0	0	0	0	1,722



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-4 市町村による資源化の内訳

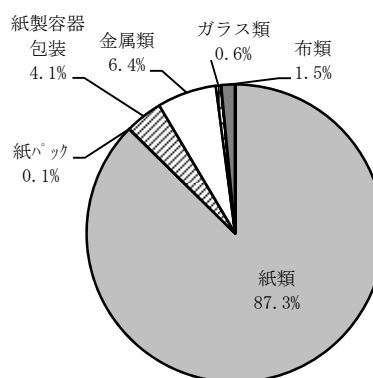


図4-5 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-6、集団回収の内訳を図4-7に示す。

平成26年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は14,657tであった。その内、紙類が5,386t(36.7%)で最も多く、次に溶融スラグ2,515t(17.2%)、金属類1,805t(12.3%)であった。

また、集団回収により資源化された量は402tであり、紙類が354t(88.1%)とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況

区分	紙類	紙ハック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	5,386	34	38	1,805	1,279	332	1,748	412
集団回収	354	1	0	16	12	0	0	0

区分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	126	0	2,515	505	0	10	467	14,657
集団回収	19	0	0	0	0	0	0	402

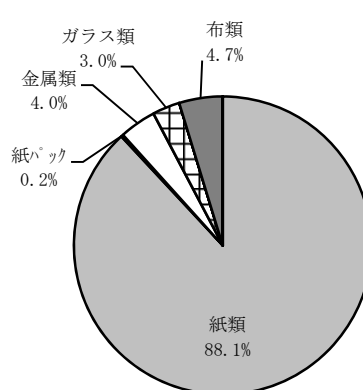
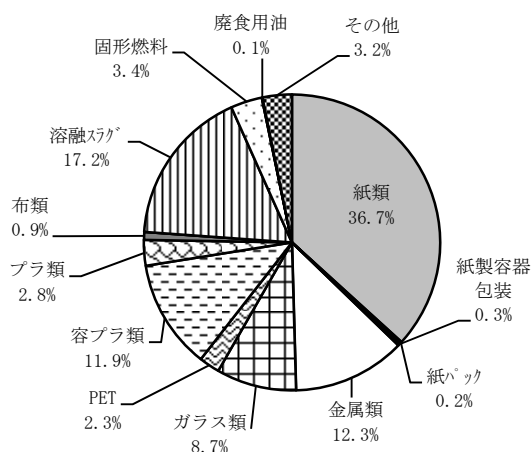


図4-6 市町村による資源化の内訳

図4-7 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-8 に示す。

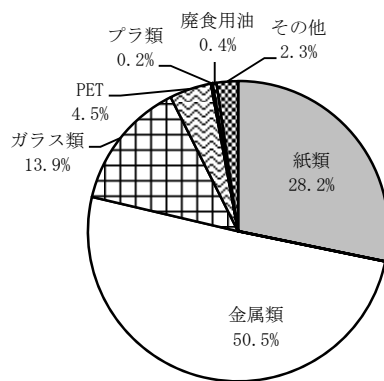
平成 26 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 911t であった。その内、金属類が 459t (50.5%) で最も多く、次に紙類が 257t (28.2%)、ガラス類 127t (13.9%) であった。

なお、隠岐地区では集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	紙ハック	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	257	0	0	459	127	41	0	2

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	0	0	0	0	0	4	21	911



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-8 市町村による資源化の内訳

5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成27年度（平成27年12月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体が8自治体と最も多く、次に生ごみ堆肥化装置の設置補助が7自治体となっている。予算については、資源ごみ団体回収への補助が多く、1自治体当たりの予算も多く使われている。

表5-1 平成27年度（平成27年12月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業類型	事業名	自治体数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	4	1,760
	ビデオ作成	1	216
イベント等の開催	イベントの開催	4	2,613
住民と事業者との連携	廃棄物減量化等協議会開催	4	727
ごみ減量化に関する助成	資源ごみ団体回収への助成	3	3,740
	生ごみ堆肥化装置の設置補助	7	3,184
	資源ごみ回収機器の貸出	1	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	8	1,834
	リサイクル啓発事業	1	1,200
	ボランティア活動への支援	1	113
その他		1	0
合 計		35	15,387

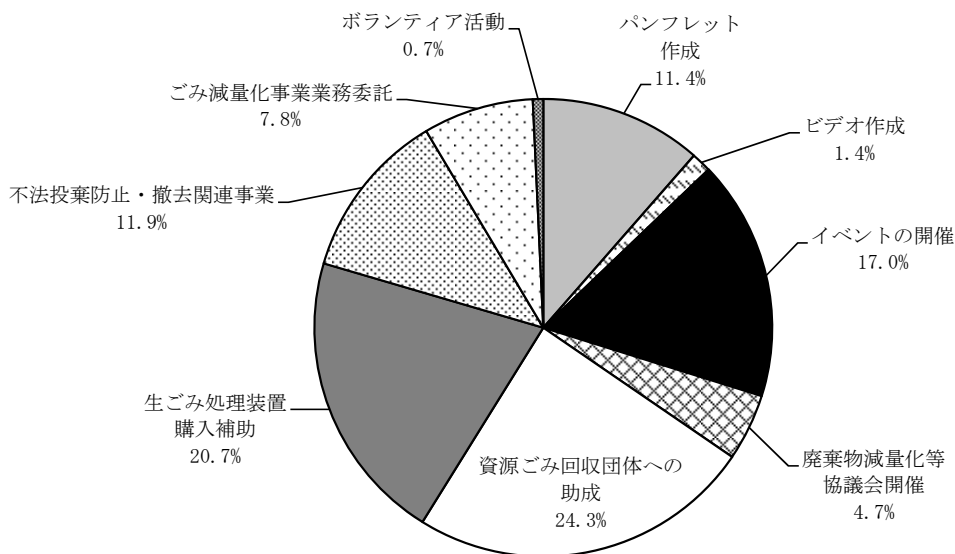


図5-1 平成27年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成27年度(平成27年12月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	10/20/30/41 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑色	10/20/50L	21.6/32.4/43.2 円	中密度ポリエチレン
	不燃	青色	5/10/20/50L	10.8/21.6/32.4/43.2 円	低密度ポリエチレン
	資源(びん)	橙	10/20L	10.8/16.2 円	低密度ポリエチレン
	資源(缶)	灰色	20/50L	16.2/21.6 円	
資源(ペットボトル)	水色	20/50L	16.5/21.6 円		
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/20/40L	15/30/51 円	高密度ポリエチレン
	不燃(破砕ごみ)	黄色(緑字)	20/40L	30/51 円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	20/40L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(薄黄色)	800×650/470mm	60 円	高密度ポリエチレンローテンLL(柔軟材)
	可燃(小)	半透明(薄黄色)	700×550/380mm	40 円	10%混入
	可燃(極)	半透明(薄黄色)	600×500/360mm	30 円	
	不燃(大)	半透明(薄緑色)	850×650/470mm	50 円	低密度ポリエチレン
	不燃(小)	半透明(薄緑色)	700×550/390mm	30 円	
	資源(大)	透明(無色)	860×650/460mm	20 円	低密度ポリエチレン
資源(小)	透明(無色)	690×540/350mm	15 円		
大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45L	25/31/51 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	30/45L	31/51 円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明	30/45L	16/21 円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	50/72/92 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45L	50/62/72 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45L	50/62/72 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	乳白	15/30/45L	15/30/45 円	高密度ポリエチレン
	資源	指定なし			
雲南市 (雲南エネルギーセンター)	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン 0.025mm
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	20/45 L	25/46 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤字)	20/45 L		低密度ポリエチレン
	資源	透明 (青字, 緑字, 黄字)	20/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白色)	15/35 L	32.4/64.8 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白色)	25 L	32.4 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162 円/1シート5枚	紙	
美郷町	可燃	半透明(白色)	15/35 L	32.4/64.8 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白色)	25 L	32.4 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白色)	25 L	16.2 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162 円/1シート5枚	紙	

注)1. 材質は市町村の調査結果を記載している。
2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成27年度(平成27年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質	
					1枚あたり		
邑南町	可燃	可燃	半透明(白)	15/35 L	32.4/64.8円	高密度ポリエチレン	
		不燃	半透明(白)	25 L	32.4円	高密度ポリエチレン	
	資源	資源(ビン)	半透明(白)	25 L	16.2円	高密度ポリエチレン	
		資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 L			
		資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L			
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45 L			
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L			
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	162円/1シート5枚	紙			
津和野町	可燃	可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン	
		資源(容包プラ)	透明(桃色文字)	290×750mm 490×800mm	30/50円	高密度ポリエチレン	
	(商品プラ)	透明(黄文字)					
(缶類)	透明(黒文字)						
資源(びん類)	透明(青文字)						
吉賀町	可燃	可燃	半透明(赤字)	450×800mm 360×800mm 360×600mm	50円 33.3円 25円	高密度ポリエチレン	
		不燃(ビン)	不燃(ビン)	半透明(青字)	400×600mm	50円	高密度ポリエチレン
			(カン)	半透明(黒字)	650×800mm		
	資源(容プラ)	資源(容プラ)	半透明(ピンク字)	650×800mm	50円	高密度ポリエチレン	
海士町	可燃	可燃	チケツト		70円	紙	
		不燃	チケツト		70円	紙	
	資源	資源	チケツト	800×600mm	70円	紙ポリエチレン(酸化鉄配合)	
知夫村	可燃	可燃	透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100円	フレキシト [®] PE	
		不燃	シール券		200/1000円券		
	資源	資源(ビン)	透明(黄色)	30 L	140円	フレキシト [®] PE	
		資源(カン)	〃	45 L	140円		
		資源(ペット)	〃	30/45 L	70/140円		
西ノ島町	可燃	チケツト		82円	紙		
	不燃	チケツト		82円	紙		
隠岐の島町	可燃	可燃	チケツト(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙 90kg 玉紙+針金#30(20mm)	
		不燃	チケツト(2色刷)	10kg以内/枚	100円	上質紙 90kg 玉紙+針金#30(20mm)	
	資源	資源	半透明	550×690mm	無料	高密度ポリエチレン	
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)	可燃	可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/45円	高密度ポリエチレン 0.025mm	
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43円	低密度ポリエチレン 0.04mm	
	資源	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43円	低密度ポリエチレン 0.04mm	
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)	可燃	可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	43/64円 30/45円	高密度ポリエチレン	
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
	資源	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43円	低密度ポリエチレン	
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	不燃	半透明	45 L	50円	高密度ポリエチレン	

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成27年度(平成27年12月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
松江市		可燃	半透明(白)	30/45 L	自由設定	炭酸カルシウム入り 高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(黄)	30/45 L	自由設定	低密度ポリエチレン
浜田市		可燃	黄	50 L	86.4 円	中密度ポリエチレン
		不燃	桃	50 L	86.4 円	低密度ポリエチレン
		資源	茶	50 L	43.2 円	低密度ポリエチレン
出雲市		可燃	白色(赤字)	40 L	123 円	高密度ポリエチレン
		不燃	黄色(赤字) 赤色(赤字)	40 L	123 円	低密度ポリエチレン
益田市		可燃	半透明(青色)	800×650/470mm	100 円	高密度ポリエチレン
大田市		可燃	半透明(緑)	45 L	103 円	高密度ポリエチレン
安来市		可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	50/72/92 円 102 円(収集券)	高密度ポリエチレン
		不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	50/62/72 円 102 円(収集券)	低密度ポリエチレン
江津市		可燃・不燃	白色	15/30/45 L	15/30/45 円	高密度ポリエチレン
奥出雲町		可燃	乳白色(青字)	20/45 L	25/46 円	高密度ポリエチレン
		不燃	透明(赤字)	20/45 L	25/46 円	低密度ポリエチレン
		資源	透明 (青字, 緑字, 黄字)	20/45 L	25/46 円	低密度ポリエチレン
飯南町		可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/43/45/64 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
		資源(容プラ) (商品プラ) (缶類) (びん類)	透明(桃色文字) 透明(黄文字) 透明(黒文字) 透明(青文字)	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
吉賀町		可燃	半透明(赤字)	800×600 mm 650×500 mm	50 円 33.3 円	高密度ポリエチレン
		不燃(ビン) (カン)	半透明(青字) 半透明(黒字)	400×600mm 650×800 mm	50 円	低密度ポリエチレン
		資源(容プラ) (商プラ)	半透明(ピンク字) 半透明(赤字)	650×800 mm	50 円	高密度ポリエチレン
海士町		可燃	チケット		70 円	紙
		不燃	チケット		70 円	紙
		資源	チケット 半透明(黄)	600×800 mm	70 円	紙ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町		可燃	チケット		82 円	紙
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)		可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	43/64 円 30/45 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/43 円	低密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)		可燃	半透明(オレンジ) (手さげ型)	20/40L (手さげ型)	30/45 円	高密度ポリエチレン 0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/45 L	32/43 円	低密度ポリエチレン 0.04mm

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ処理機等の購入に対する補助(平成27年度)

市町村名	補助基準	備 考
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(市内に住所を有する個人、過去3年以内に同じ補助を受けていない。市税の滞納がない)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1 世帯当たり 2 基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 25 千円 (100 円未満の端数は切り捨て)	コンポスト (2 個まで) 電気式 (1 個まで) ※その他補助が受けられる年数要件有り
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	電源なし (1 世帯 2 基まで) 電源あり (1 世帯 1 基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	生ごみ処理容器(1 世帯当たり 2 基まで) 電気式生ごみ処理機(1 世帯当たり 1 基まで)
西ノ島町	補助率 1/2、上限 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、上限 10 千円(町外購入)	

6. し尿処理の概要

(1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 26 年度（外国人含む）における県内の水洗化人口は、563,564 人(80%)、非水洗化人口は、143,048 人(20%)である。水洗化人口は前年の 0.4%増で、平成 22 年度と比べると 3.5%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
総人口(人)	722,177	717,167	717,289	712,345	706,612
水洗化人口(人)	544,297	545,559	552,401	561,292	563,564
下水道人口(人)	261,788	263,304	273,102	279,332	281,751
コミュニティ・プラント人口(人)	4,538	4,503	4,465	4,488	4,489
浄化槽人口(人)	277,971	277,752	274,834	277,472	277,324
非水洗化人口(人)	177,880	171,608	164,888	151,053	143,048
計画収集人口(人)	172,756	166,890	160,540	146,963	140,380
自家処理人口(人)	5,124	4,718	4,348	4,090	2,668
総処理量(kL/年)	288,040	287,066	279,315	279,924	284,211
し尿計画処理量(kL/年)	111,061	107,782	102,066	100,268	94,778
自家処理量(kL/年)	2,748	3,532	3,356	3,321	1,622
浄化槽汚泥計画処理量(kL/年)	174,231	175,752	173,893	176,335	187,811

注) 平成 24 年度以降は外国人含む。
 総人口＝水洗化人口＋非水洗化人口
 水洗化人口＝下水道人口＋コミュニティ・プラント人口＋浄化槽人口
 非水洗化人口＝計画収集人口＋自家処理人口

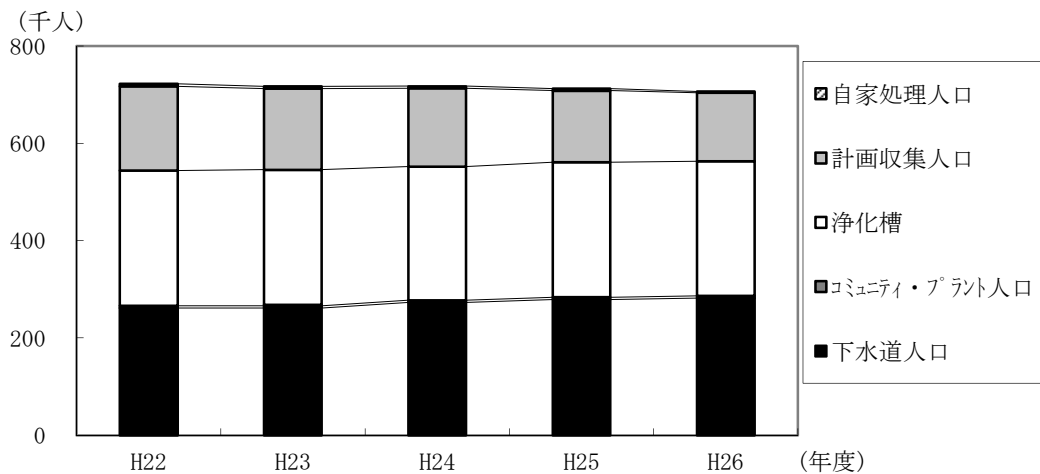
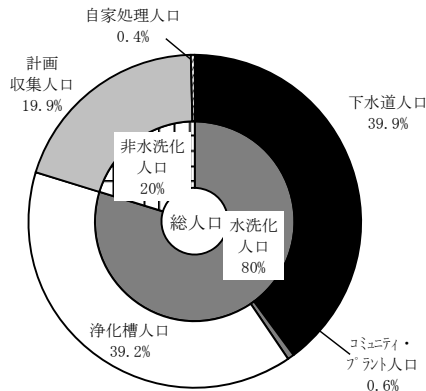


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 (外国人含む) = 水洗化人口 + 非水洗化人口
 水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口
 非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

平成26年度における県内の総処理量は、284,211kLで、前年より約1.5%増加している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が66.1%、し尿計画処理量が33.3%、自家処理量0.6%となっている。

1人1日当たりし尿計画処理量は1.85L/人日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.83L/人日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成26年度
総処理量 (kL/年)		284,211
内訳	し尿計画処理量	94,778
	自家処理量	1,622
	浄化槽汚泥計画処理量	187,811
し尿計画処理量 (kL/年)		94,778
内訳	下水道投入	94
	し尿処理施設	94,668
	農村還元	16
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		187,811
内訳	下水道投入	469
	し尿処理施設	187,234
	農村還元	108
1日1人当たりし尿計画処理量 (L/人日)		1.85
1日1人当たりし尿排出量 (L/人)		1.84
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日)		1.83

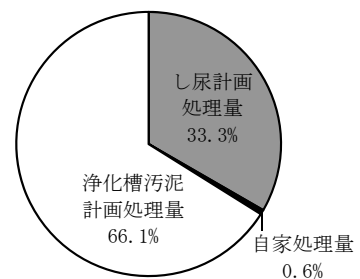


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量
 1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 103
 1人1日当たりし尿排出量 (L/人日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 103
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365日 × 103

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 26 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 842kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数は 9 施設（計画最大汚水量 2,368m³/日）である。

浄化槽設置数は合計 68,769 基で、去年より 505 基減少している。

平成 26 年度の浄化槽設置基数（個人設置型）は 534 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設						コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	高負荷一次処理	合計	
施設数	1	2	4	4	1	12	9
規模(kL/日)	40	117	218	397	70	842	2,368(m ³ /日)

注1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式
 一次処理……一次処理後に下水道に放流
 標脱……標準脱窒素処理方式（旧低二段）
 膜分離……膜分離処理方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m³/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設 置 数	67,793	762	115	99	68,769

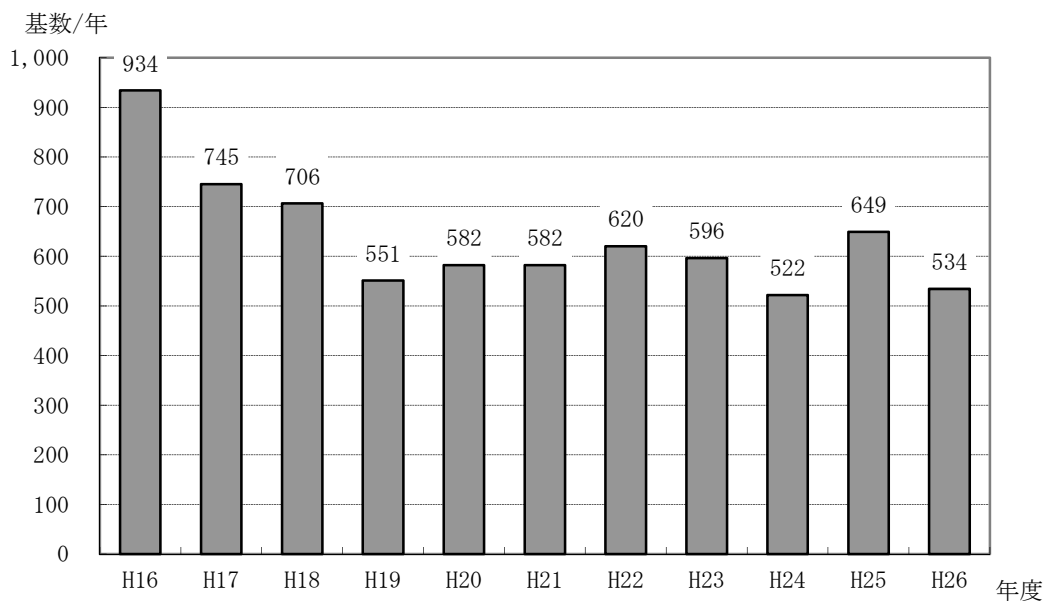


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

7. 一般廃棄物処理事業の実態

7-1 廃棄物処理事業経費の概要

(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 26 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 12,785,625 千円であり、前年より約 0.8%減少している。経費の内訳はごみ処理が 10,923,006 千円、し尿処理が 1,862,619 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

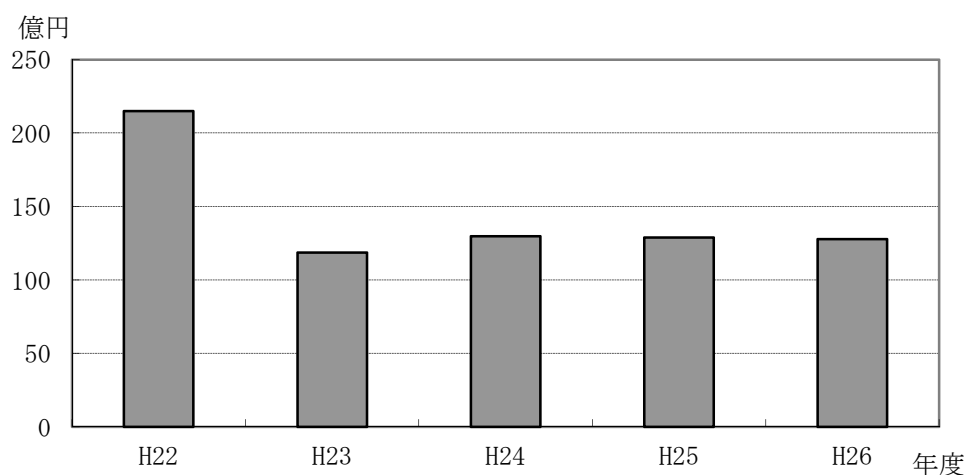


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、浜田地区が 4,082,698 千円 (37.4%) と最も多く、次いで松江地区 3,438,253 千円 (31.5%)、出雲地区 2,529,147 千円 (23.2%)、隠岐地区 872,908 千円 (8.0%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)
(平成 26 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源			合計		
	国庫支出金	県支出金	地方債			
歳入			使用料及び手数料 (市町村分担金)	その他	一般財源	合計
ごみ	506,501	46,619	1,970,539	2,050,935	1,116,388	10,923,006
し尿	84,097	0	209,454	500,191	32,525	1,862,619
計	590,598	46,619	2,179,993	2,551,126	1,148,913	12,785,625

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)
(平成 26 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費										処理及び維持管理費					その他	合計			
	工事費			調査費			人件費				処理費		委託費					〔組合〕 〔分担金〕		
	収集運搬施設	中間処理施設	最終処分場	その他	調査費	〔組合〕 〔分担金〕	小計	収集運搬費	中間処理費	最終処分費	人件費	収集運搬費	車輜等購入費	最終処分費	その他	〔組合〕 〔分担金〕	小計			
ごみ	0	561,972	241,170	3,288	9,229	247,418	815,659	67,748	1,034,466	255,310	1,544,102	44,371	2,211,710	3,614,561	162,143	1,803,517	28,388	9,009,027	1,098,320	10,923,006
し尿	2,290	376,566	0	11,513	0	204,709	390,369	76,732	485,611	0	251,957	1,559	57,065	534,929	3,964	295,482	5,051	1,425,073	47,177	1,862,619
計	2,290	938,538	241,170	14,801	9,229	452,127	1,206,028	144,480	1,520,077	255,310	1,796,059	45,930	2,268,775	4,149,490	166,107	2,098,999	33,439	10,434,100	1,145,497	12,785,625

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

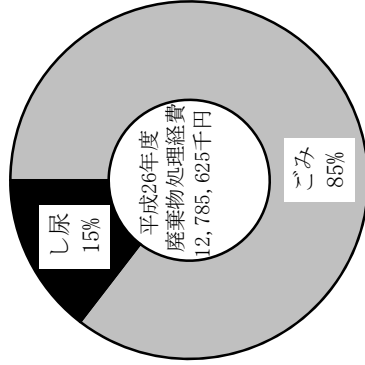


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳(県全体)

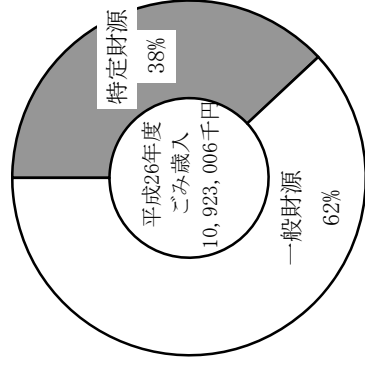


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

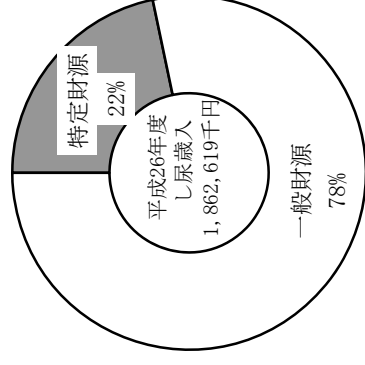


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳(県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村) (平成 26 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源			合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	
ごみ	506,501	46,619	516,800	10,609,661
し尿	3,747	0	78,200	1,714,980
計	510,248	46,619	595,000	12,324,641

表 7-4 歳出の内訳(市町村) (平成 26 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費										処理及び維持管理費						その他	合計				
	工事費			調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輜等 購入費	委託費			組合 分担金	小計						
	収集 運搬 施設	中間処 理施設	最終 処分場					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	調査 研究費
ごみ	0	314,554	241,170	3,288	9,229	247,418	815,659	1,313,369	67,083	762,607	245,364	44,371	2,030,600	2,432,009	155,052	31,101	1,803,517	0	8,885,073	908,929	10,609,661	
し尿	2,290	93,066	0	11,513	0	204,709	311,578	202,674	68,852	326,644	0	0	54,047	438,541	0	8,205	295,482	2,083	1,396,528	6,874	1,714,980	
計	2,290	407,620	241,170	14,801	9,229	452,127	1,127,237	1,516,043	135,935	1,089,251	245,364	44,371	2,084,647	2,870,550	155,052	39,306	2,098,999	2,083	10,281,601	915,803	12,324,641	

表 7-5 歳入の内訳(事務組合) (平成 26 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源			合 計
	国庫支出金	県支出金	市町村分担金	
ごみ	0	0	202,722	2,364,280
し尿	80,350	0	39,048	647,830
計	80,350	0	241,770	3,012,110

表 7-6 歳出の内訳(事務組合) (平成 26 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費														調査 研究費	小計	その他	合計		
	工事費			調査費	小計	人件費	処理費			車輜等 購入費	委託費									
	収集 運搬	中間処理	最終処分				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	収集運 搬費					中間 処理費	最終 処分費
ごみ	0	247,418	0	0	247,418	230,733	665	271,859	9,946	0	181,110	1,182,552	7,091	15,127	28,388	1,927,471	189,391	2,364,280		
し尿	0	283,500	0	0	283,500	49,283	7,880	158,967	0	1,559	3,018	96,388	3,964	0	2,968	324,027	40,303	647,830		
計	0	530,918	0	0	530,918	280,016	8,545	430,826	9,946	1,559	184,128	1,278,940	11,055	15,127	31,356	2,251,498	229,694	3,012,110		

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳 (地区別) (平成 26 年度, 単位: 千円)

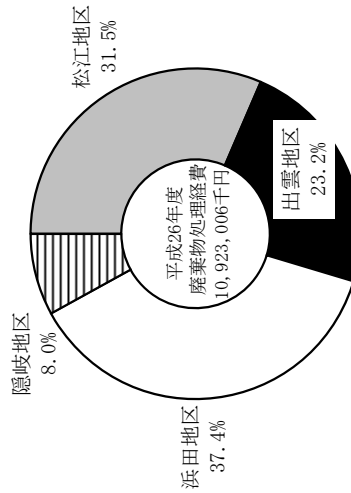
歳入	特定財源				合計		
	一般財源		その他				
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料 (市町村分担金)			
松江地区	0	0	719,262	0	422,288	2,296,703	3,438,253
出雲地区	0	46,619	770,138	499,936	398,698	1,288,992	2,529,147
浜田地区	313,650	0	386,276	1,550,999	278,918	2,822,654	4,082,698
隠岐地区	192,851	0	94,863	0	16,484	357,810	872,908
合計	506,501	46,619	1,970,539	2,050,935	1,116,388	6,766,159	10,923,006

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳 (地区別) (平成 26 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費											その他	合計							
	工事費					処理及び維持管理費														
	調査費		処理費			委託費			調査研究費	小計	組合(分担金)									
	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	収集運搬費	人件費	小計	収集運搬費						中間処理費	最終処分費					
松江地区	0	0	15,870	0	0	15,870	592,325	26,566	109,357	60,300	22,844	846,478	1,608,200	17,504	9,729	0	3,293,303	129,080	3,438,253	
出雲地区	0	32,994	27,000	0	0	69,223	297,123	7,192	626,953	128,309	0	673,638	559,877	9,723	27,378	499,936	0	2,330,193	129,731	2,529,147
浜田地区	0	266,912	19,347	0	0	247,418	474,711	16,044	228,732	59,585	5,647	661,581	1,353,493	127,493	9,121	1,303,581	28,388	2,964,795	831,644	4,082,698
隠岐地区	0	262,066	178,953	3,288	0	444,307	179,943	17,946	69,424	7,116	15,880	30,013	92,991	7,423	0	0	0	420,736	7,865	872,908
合計	0	561,972	241,170	3,288	0	815,659	1,544,102	67,748	1,034,466	255,310	44,371	2,211,710	3,614,561	162,143	46,228	1,803,517	28,388	9,009,027	1,098,320	10,923,006

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。



※四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図 7-5 地区別の内訳

7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。
平成 26 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 294 人である。
内訳は、ごみ処理が 254 人、し尿処理が 40 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一 般 職	事 務 系	129	14	14	5	143	19	162
	技 術 系	32	6	10	3	42	9	51
技 能 職	収 集 ・ 運 搬	36	0	0	0	36	0	36
	中 間 処 理	23	12	3	0	26	12	38
	最 終 処 分	1	1	0	0	1	1	2
	そ の 他	0	0	5	0	5	0	5
合 計		221	33	32	8	253	41	294

7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。
平成 26 年度末における委託・許可件数は市町村では 376 件、事務組合では 72 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

		区 分	市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)		117	20
	許可業(法第7条)		181	44
し尿	委託業(法第6条)		8	1
	許可業(法第7条)		70	7
合 計			376	72

7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 26 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	114	43	150

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,844	584	30	2,421

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm ³)				
		H26 年度 調査結果	H25 年度 調査結果	H24 年度 調査結果	排出 基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	0.00120 0.00200 0.00330	0.00069 0.0044 0.000063	0.00004 0.000046 0.003	1.0	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	0.12 0.26	0.29 0.21	0.79 0.4	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.000014 0.000016	0.0014 0.00051	0.0000025 0.0011	0.1	
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	0.41	0.16	0.23	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	0.0000011 0.0000072	0.00000012 0.00077	0.000013 0.00005	1.0	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	0.0000036 0	0 0.00000090	0.0000021 0.0000012	5.0	
隠岐の島町 清掃センター	BF	2.3	1.2	1	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	0.038	0.025	0.088	5.0	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	0.87	0.34	0.81	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.045	0.048	0.061	—	ごみ燃料化 施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	—	(6.0)	(4.2)	5	新設のため 期限未到来 ()は旧炉

注)集塵方式において、MC=マルチサイクロン、BF=バグフィルター、*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」